

# G.プッチーニ作曲 オペラ《ラ・ボエーム》の世界 オペラ歌手のためのマスタークラスと成果発表会

～19世紀パリで繰り広げられる若き芸術家たちの愛と青春のドラマ～

イタリアオペラを代表するこの憧れの作品を、イタリアオペラ界を代表する先生方の下で学びたい。本学では今秋、声楽コースの学生と卒業生を対象にこの作品のマスタークラスを開催します。オペラの舞台はどのようにつくられるのか、その成果は舞台の上でどのように表現されるのか…大学生たち、若い歌手たちが学ぶ姿とその成果をぜひ見てみませんか？

【日 程】 ※いずれも見学可能です。定員制につき、事前にお申し込みが必要です。  
2024年10月15日(火)～21日(月) マスタークラス授業 スタジオ・ブリオ  
2024年10月20日(日)15:30開演 成果発表会 テアトロ・ジリーオ・ショウワ

## 【指 導】

マルコ・ガンディーニ 演出家/本学客員教授  
ニコラ・パスコフスキ 指揮者/ノヴァラ・カンテッリ音楽院教授  
堀岡 佐知子 オペラコーチ/本学客員教授

【参加費】 聴講料 無料(事前申込・定員制)

## 《ラ・ボエーム》あらすじ

19世紀パリ。ロドルフォ(詩人)、マルチェット(画家)シヨナール(音楽家)コッリーネ(哲学者)。四人の貧しい芸術家の卵たちは古いアパートの屋根裏部屋で暮らしています。クリスマスイヴの夜、詩人のロドルフォが独り仕事をしていると、同じ階に住むお針子のミミがロウソクの火を貰いに訪ねてきます。お互いの夢を語るうちふたりはたちまち恋に落ち、仲間の皆が待つカフェへ。イヴの活気に溢れたパリの街で、マルチェットは元恋人のムゼッタと再会し、こちらも仲直り。青春を謳歌する若者たちでしたが、ミミは重大な病気を患っていたのです。のちにミュージカル《レント》のもとになった作品でもある青春群像劇。ぜひお楽しみください。

※マスタークラスとは、第一線で活躍する演奏家から直接指導を受けられる公開レッスンのことです。

※2025年秋には大学オペラ公演として《ラ・ボエーム》を総力を挙げて上演する予定です。

10/20 (日)

声楽コース/声とことばの創造表現  
コースオープンキャンパスご参加者  
は同日の成果発表会に特別ご招待

オープンキャンパス  
お申込みはこちら



【お問い合わせ】 0120-86-6606(入試広報室)

